

若者にもっと区の魅力を知ってもらうために、区政や地域の魅力を発信します!
若者による情報発信団体「ねつせた!」プレゼンツ

ネタタイムズ! Vol.2

人と人のつながりを生み出す 施設づくりに携わる工夫と想い

11月に区役所本庁舎にオープンする区民利用・交流拠点施設((仮称)協働プレイス※)について、市民活動推進課の職員お二人に取材してきました。
※区民利用・交流拠点施設は今後愛称募集を行う予定です。愛称が決定するまで、「(仮称)協働プレイス」として表記しています。

Q1 (仮称)協働プレイスとは?

区役所東棟1階にオープンするガラス張りの区民交流スペースや、開放感のある広場を中心とした、区民・市民活動団体・区がともに交流や協働を育む市民活動支援の拠点となる施設です。

Q2 (仮称)協働プレイスをつくらうとした経緯は?

この施設は、本庁舎建替え計画の中で生まれました。庁舎は行政サービスを行う場所だけでなく、区民同士や地域団体、事業者等が
つながり、新しい活動を生み出す場にしたいという思いがあり、誰
もが立ち寄りやすいオープンな交流スペースを目指しています。

Q3 施設づくりのために、どのような工夫をしていますか?

施設づくりで特に大切にしているのは、特定の利用者だけの場所に
しないことです。そのために区では、学生や大学教員、シニア世代の
方等、様々な立場の人が参加する委員会を設置し、意見を集めながら
運営方法や事業内容について検討しています。

今年からは18〜39歳の区民委員も加わり、子育て世代や若者世代の視点も取り入れています。多様な世
代の委員の方の率直な意見をもとに、誰もが利用しやすく親しみやすい施設を目指しています。

Q4 若者にどのように利用してもらいたいですか?

若者にはぜひ自由な発想でこの場所を使ってほしいです。カウンタースペースで友人と過ごしたり、
勉強したりするだけでなく、自分たちでイベントやワークショップを企画する場としても活用してほし
いです。設備は無料で利用できるの、まずはやってみよう挑戦する場になればと期待しています。

編集後記

区民同士の交流の場を作るために、発案の段階から多様な世代の意見を取り入れながら施設づくり
を進めていることが印象に残りました。今後、ねつせた!で、イベント等を通してこの施設に関わり、
地域を盛り上げる活動ができればいいなと思っています。 【ライター】めぐみ・ここは・まお・たまお

区子ども・若者支援課
☎5432-2585 FAX5432-3050



続きは、ねつせた!のnoteを見てね▶



若者による情報発信団体「ねつせた!」のホームページ▶

ねつせた! X、Instagram、noteで日々発信中! Follow me #ねつせた



(仮称)協働プレイス完成イメージ

屋上庭園



広場へ続くピロティ 区民交流スペース



広場



施設づくりを支える
職員の仕事風景▶



◀取材中! 資料を見ながら、
職員の方にお話を伺っています

新メンバー募集中! /



世田谷区民意識調査2026の 結果をお知らせします

区民の皆さんの区政に対する意識やニーズをお聴きし、区政
運営の参考とするために、毎年「区民意識調査」を実施しています。

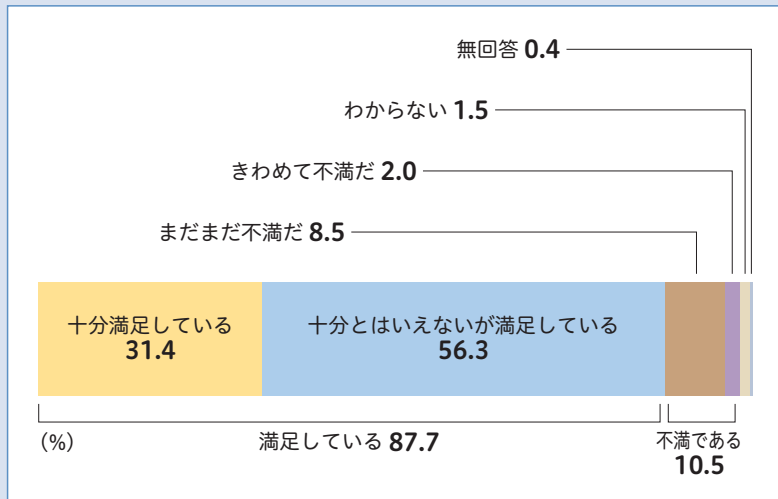
調査結果がまとまりましたので、その一部をお知らせします。
今年度は2477人の方にご回答いただきました。

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しないことがあります。

区広報広聴課 ☎5432-2014 FAX5432-3001 区HPQ 11963

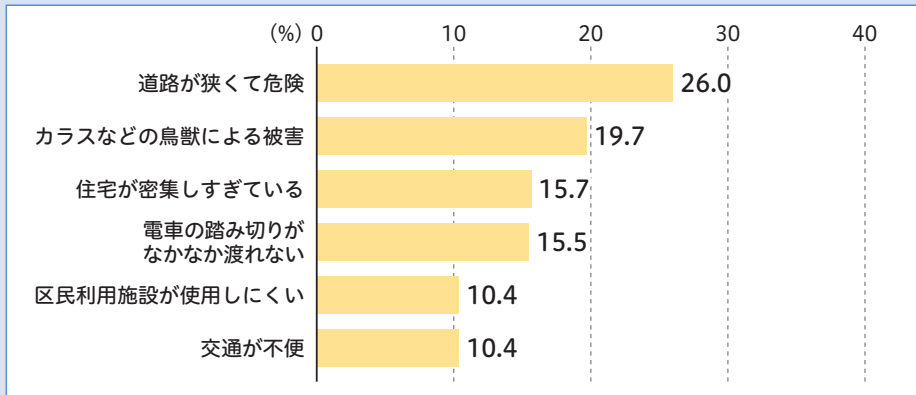
暮らしの満足度

「十分満足している」(31.4%)と「十分とはいえないが満足している」
(56.3%)を合わせた《満足している》(87.7%)が9割近くでした。



地域における日常生活での困りごと

「道路が狭くて危険」(26.0%)が最も高く、以下、「カラスなどの鳥獣による被害」(19.7%)、「住宅が密集しすぎている」(15.7%)等と続いています。



区が積極的に取り組むべき事業

「災害に強いまちづくり」(33.7%)が最も高く、「防犯・地域安全の対策」(31.4%)、「高齢者福祉の充実」(23.9%)、「子どもが育つ環境づくり」(19.2%)等と続いています。

